

☆READ 2021 ☆第5弾



先生方によるおススメ本紹介企画・2021年10月 (原稿回収) IC 木内・室井/IE 杉本

「アルフレッド・アドラー 人生に革命が起きる 100の言葉」

高校1年A組担任・保健体育 梁川啓介

小倉広/著・(株)ダイヤモンド社/発行

アルフレッド・アドラーはオーストリア出身の心理学者です。「心理学」の著書は難しく、手に取りづらいと思う人も多いと思いますが、各章簡潔にまとめられていて、「あっ、こういう考え方もあるのか!」と新たな発想が生まれるかもしれません。



「賢さをつくる」

高校1年F組担任・理科 古川昇

谷川祐基/著・(株)CCCメディアハウス/発行

「賢い人ってどんな人?」

この質問を小学生にすると、『テストの点が高い人』というインプットのカ、大人からは『発想が豊かで、思いつかないアイデアが浮かぶ人』というアウトプットのカが出てきます。それらを鍛える方法を学び、賢さについて考えてみよう。



「神・時間術」

高校1年B組担任・理科 山本華織

樺沢紫苑/著・(株)大和書房/発行

ちゃんとしたいのに、ちゃんとできない。睡眠も不規則、食事も不規則。集中力は続かず、落ち着かない。このままではいけないと思い、本書を手に取りました。大人向けのビジネス書ですが、「時間」について新しい価値観と出会える1冊だと思います。



「カラフル」

高校1年G組担任・数学 伊藤昭文

森絵都/著・(株)理論社/発行

死んだはずの僕のもとに天使がやってきて、再挑戦の機会をくれるという。挑戦の内容は小林真という別人の体へのホームステイ。僕は、小林真の人生を歩みながら、彼の身に起きた真実を探していく。なんとなく過ごす日常は、案外カラフルだと感じさせてくれる作品です。



「星の王子さま」

高校1年C組担任・数学 滝浦秀平

サン＝テグジュペリ/原作・(株)リサーチ出版/発行

勉強、部活、習い事。毎日、目の前には大変なことがたくさんありますよね。そんな日々の中で『ほんとうに大切なもの』って何だと思いませんか?星の王子さまが教えてくれるでしょう。チャレンジできる方は英語版で読んでみましょう。



「才能の正体」

高校1年H組担任・英語 遠藤貴章

坪田信貴/著・(株)幻冬舎/発行

数年前、話題になった『ビリギャル』の著者でもある坪田信貴氏が「才能」について分析していく1冊。本書の大前提として、「才能≠持って生まれたもの」と坪田氏は主張します。まずはこの思い込みを捨てること、それが出来たら読んでみてください。著者が生徒たちの指導を通じて得た「才能の育て方」に関する知見を余すことなく語ってくれます。自分には才能がないからと諦めていた人はもちろん、学生にも早く手に取ってほしい1冊です。



「羊をめぐる冒険」

高校1年D組担任・英語 廣瀬仁士

村上春樹/著・(株)講談社/発行

主人公の「僕」は淡々とした没個性な青年で、ミステリアスで複雑な出来事に巻き込まれ「羊」を求めて旅をしてゆく。「羊」を見つけ出した先には喪失が待ち受けているという物語。読みやすい文体でスラスラ読めるので、著者がノーベル文学賞を受賞する前にご一読を勧めます。



「魯山人の料理王国」

高校1学年副担任・美術 麻生隆悟

北大路魯山人/著・文化出版局/発行

皆さんは名作グルメ漫画「美味しんぼ」をご存知ですか?その作中にたびたび登場する人物こそが、今回紹介する本の筆者、北大路魯山人なのです。芸術家で美食家だった魯山人唯一の料理エッセイ集。古い本ですがグルメなあなたにピッタリな1冊です。



「パン屋ではおにぎりを売れ」

高校1年E組担任・数学 高木優一郎

柿内尚文/著・(株)かんき出版/発行

最近スマートフォンの普及により、考える時間が自然と奪われる時代になったと感じます。この本では、考える技術を学ぶことができます。考えるトレーニングを重ね、今後の人生において解決のヒントにしてみたいかがですか?勉強方法に活用することもお勧めです!



「ぐでたまの『資本論』」

高校1学年副担任・地歴 粕谷南

朝日文庫編集部/編・朝日新聞出版/発行

無理をして働き、大切な人生を見失わないための心得が書かれています。19世紀の思想家・マルクスの『資本論』をぐでたまと読み解いていく1冊。今の時代にも生きる言葉がたくさんあります。1番好きな言葉は「無理をしない。ほどほどだったら良しとしよう」です。

